



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 タカセ株式会社 上場取引所 東
コード番号 9087 URL <https://www.takase.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大宮司 典夫
問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長管理本部長 (氏名) 笹岡 幹男 TEL 03-3571-9497
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	6,196	1.3	73	△40.8	94	△42.8	85	△29.5
2024年3月期第3四半期	6,117	△11.3	124	△45.8	165	△44.6	121	△47.8

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 103百万円(△54.5%) 2024年3月期第3四半期 226百万円(△30.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	42.80	—
2024年3月期第3四半期	60.89	—

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	9,471	7,218	76.2	3,591.77
2024年3月期	9,908	7,225	72.9	3,608.39

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 7,218百万円 2024年3月期 7,225百万円

当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期(予想)年間配当額は、株式分割後の配当額を記載しております。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	1.3	110	△36.0	120	△46.5	100	△67.3	49.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
除外 1社 (萬警備保障株式会社)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	2,109,026株	2024年3月期	2,109,026株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	99,152株	2024年3月期	106,578株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	2,006,904株	2024年3月期3Q	1,999,950株

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数、自己株式数、期中平均株式数を算出しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	8
(追加情報)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、雇用環境や個人所得の改善による個人消費の持ち直しに加え、旺盛なインバウンド需要の高まりが見られるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、原材料価格の高騰による物価の高止まりや中国経済の停滞、大幅な為替変動は長期化し、依然として世界情勢は不安定であるなど不透明な状況が続きました。

そのような中において、当社グループは、社訓「まごころ」、社是「ADD SYSTEM」を念頭に、当社グループを選んでいただけるよう、顧客目線を大切にされた品質第一のサービス提供に努めてまいりました。特に、「社会貢献度の高い分野への物流サービス提供」、「新規顧客の獲得」、「適正料金の収受」については、重点課題として積極的に取り組んでまいりました。その中でも「適正料金の収受」につきましては、当第3四半期連結会計期間においても主要顧客との間で一部実現しております。今後とも取組を強化してまいります。

また、期初に事業構造改革によるコスト削減を目的として発足したプロジェクトにおいて基幹営業所の業績改善に取り組んだことに加え、各営業所において当社グループの強みである流通加工業務にかかる業務効率化についても、一定の効果が顕在化したことにより、特に利益面において上期からの改善が見られました。

一方で、「社会貢献度の高い分野への物流サービス提供」ならびに「新規顧客の獲得」については、満足できる結果は得られておらず、加えて、直近のコスト上昇に適応すべく「適正料金の収受」に向けたさらなる営業活動強化、営業所における作業コスト削減に対しては、全社を挙げて、これまで以上に取組む必要があると認識しております。

上記の取組の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益が期初からの収受料金改定効果、主要顧客における業務取扱量が増加したことを受け、前年同期間と比較して、1.3%増の61億96百万円となりました。

利益面につきましては、収受料金の改定による利益率改善が見られた顧客があったことに加え、上期と比較して作業収益にかかるコスト削減について効果が顕在化したことにより一定の改善は見られたものの、上期の不振を挽回するまでには至らず、加えて中国現地法人において上期から継続して上昇するコストの削減が進まなかった影響もあり、営業利益は、前年同期間と比較して、40.8%減の73百万円となりました。また、経常利益においては、営業外収益の受取賃貸料が減少したことから、同42.8%減の94百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、非連結子会社2社（萬警備保障株式会社・エーディーディーエクスプレス株式会社）の清算による子会社清算益47百万円、子会社清算損27百万円をそれぞれ計上し、同29.5%減の85百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

- A. 総合物流事業におきましては、収受料金の改定および一部主要顧客の業務取扱量が増加したことから、営業収益が前年同期間と比較して1.4%増の61億38百万円となりました。営業利益は、営業収益が増加したものの、第3四半期連結会計期間に顕在化した作業収益にかかる一定のコスト削減効果が、上期の不振を補うには至らず、中国現地法人におけるコスト削減が進まなかった影響もあり、同33.7%減の60百万円となりました。
- B. 運送事業におきましては、当事業が、総合物流事業に対する運送分野を担っております。営業収益は、主要顧客の業務取扱量減少の影響を受け、前年同期間と比較して6.1%減の2億13百万円となりました。営業利益は、営業収益の減少による影響はあったものの、コスト削減による原価率改善の効果があり、わずかながら増益となりました。
- C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する流通加工（倉庫内オペレーション）分野を担っております。国内物流業務取扱量が減少したことから、営業収益は前年同期間と比較して3.8%減の7億42百万円となりました。営業損益は、営業収益の減少に加え、労務コスト上昇の影響が大きく、前年同期間と比較して19百万円減少し、3百万円の営業損失となりました。

(注) 上記営業収益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億36百万円（4.4%）減少し、94億71百万円となりました。

この主な要因は、現金及び預金が4億35百万円減少したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ4億30百万円(16.0%)減少し、22億52百万円となりました。

この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が75百万円、長期借入金が1億86百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ6百万円(0.1%)減少し、72億18百万円となりました。

この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により85百万円増加した一方で、利益剰余金が前連結会計年度にかかる期末配当金により70百万円、連結範囲の変更により49百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期連結業績予想に関する事項につきましては、2025年3月期第2四半期(中間期)決算短信(2024年11月7日付)において公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,122,560	1,686,661
売掛金及び契約資産	886,107	922,264
原材料及び貯蔵品	11,683	11,566
前払費用	45,378	103,591
その他	146,351	186,893
貸倒引当金	△1,575	△828
流動資産合計	3,210,505	2,910,149
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,103,614	10,194,649
減価償却累計額	△7,592,661	△7,766,211
減損損失累計額	△64,872	△64,872
建物及び構築物 (純額)	2,446,081	2,363,565
機械装置及び運搬具	1,975,074	2,007,946
減価償却累計額	△1,840,746	△1,872,758
減損損失累計額	△2,277	△2,277
機械装置及び運搬具 (純額)	132,050	132,911
土地	2,335,562	2,335,562
その他	669,837	713,859
減価償却累計額	△545,480	△570,345
減損損失累計額	△14,983	△15,043
その他 (純額)	109,373	128,470
有形固定資産合計	5,023,067	4,960,510
無形固定資産		
借地権	458,486	458,486
その他	38,904	26,838
無形固定資産合計	497,390	485,325
投資その他の資産		
投資有価証券	633,484	575,985
繰延税金資産	90,302	76,160
その他	458,976	468,299
貸倒引当金	△5,316	△4,946
投資その他の資産合計	1,177,446	1,115,497
固定資産合計	6,697,905	6,561,333
資産合計	9,908,411	9,471,483

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	434,366	409,687
短期借入金	275,000	235,000
1年内返済予定の長期借入金	365,000	290,000
未払費用	93,854	118,350
未払法人税等	34,575	8,027
賞与引当金	59,380	35,455
その他	150,339	145,277
流動負債合計	1,412,517	1,241,797
固定負債		
長期借入金	695,000	509,000
退職給付に係る負債	398,119	360,661
その他	177,163	141,026
固定負債合計	1,270,282	1,010,687
負債合計	2,682,799	2,252,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,171,719	2,171,408
利益剰余金	2,657,189	2,623,913
自己株式	△140,460	△130,673
株主資本合計	6,821,730	6,797,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	214,255	214,767
為替換算調整勘定	189,625	206,301
その他の包括利益累計額合計	403,881	421,068
純資産合計	7,225,611	7,218,997
負債純資産合計	9,908,411	9,471,483

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
営業収益	6,117,379	6,196,987
営業原価	5,326,823	5,458,746
営業総利益	790,556	738,241
販売費及び一般管理費	666,103	664,553
営業利益	124,452	73,687
営業外収益		
受取利息	2,149	2,667
受取配当金	21,206	17,137
受取賃貸料	17,825	2,648
為替差益	3,610	2,275
その他	12,779	12,134
営業外収益合計	57,571	36,863
営業外費用		
支払利息	14,237	11,413
その他	2,095	4,318
営業外費用合計	16,333	15,732
経常利益	165,690	94,818
特別利益		
固定資産売却益	4,870	—
子会社清算益	—	47,625
特別利益合計	4,870	47,625
特別損失		
固定資産除売却損	925	120
減損損失	845	309
子会社清算損	—	27,985
特別損失合計	1,771	28,415
税金等調整前四半期純利益	168,788	114,029
法人税、住民税及び事業税	35,772	15,970
法人税等調整額	11,232	12,155
法人税等合計	47,004	28,125
四半期純利益	121,784	85,903
親会社株主に帰属する四半期純利益	121,784	85,903

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	121,784	85,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,484	511
為替換算調整勘定	67,480	16,676
その他の包括利益合計	104,964	17,187
四半期包括利益	226,748	103,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	226,748	103,091

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

前連結会計年度まで連結子会社でありました萬警備保障株式会社は、事業縮小に伴い重要性が低下したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。なお、同社は2024年12月13日付で清算終了しております。

(追加情報)

(譲渡制限付株式制度としての自己株式の処分の内容)

当社は、2024年8月26日開催の取締役会において、当社および当社子会社従業員（以下、「割当対象者」といいます。）に対して、譲渡制限付株式制度（以下、「本制度」といいます。）を導入することについて決議し、また、2024年11月25日開催の取締役会において、以下のとおり、本制度として自己株式の処分を行うことについて決議いたしました。

1. 処分の概要

(1) 払込期日	2025年1月22日
(2) 処分する株式の種類及び総数	当社普通株式 8,300株
(3) 処分価額	1株につき1,190円
(4) 処分総額	9,877,000円
(5) 割当予定先	当社従業員 40名 4,000株 当社子会社従業員 43名 4,300株

2. 処分の目的及び理由

当社は、割当対象者が当社株式を所有することで経営参画意識を高め、当社の企業価値の持続的な向上を目指すとともに、株主の皆様と一層の価値共有を進めることを目的として、当社の従業員40名及び当社子会社の従業員43名に対し、金銭債権合計9,877,000円（以下、「本金銭債権」といいます。）を支給することを決議し、本制度に基づき、割当対象者が当社に対する本金銭債権の全部を現物出資財産として給付することにより、当社の普通株式8,300株を処分することを決議いたしました。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間にかかる四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間にかかる減価償却費（無形固定資産にかかる償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	255,520千円	263,677千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
日本	4,532,418	42,143	2,212	4,576,775	22,704	4,599,480
中国	1,065,475	—	—	1,065,475	—	1,065,475
米国	248,668	—	—	248,668	—	248,668
顧客との契約から生じる収益	5,846,561	42,143	2,212	5,890,918	22,704	5,913,623
その他の収益(注) 4	203,755	—	—	203,755	—	203,755
外部顧客への営業収益	6,050,317	42,143	2,212	6,094,674	22,704	6,117,379
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	5,642	185,476	769,567	960,686	46,154	1,006,841
計	6,055,960	227,619	771,780	7,055,361	68,859	7,124,220
セグメント利益	90,602	63	16,690	107,356	4,144	111,500

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
日本	—	4,599,480
中国	—	1,065,475
米国	—	248,668
顧客との契約から生じる収益	—	5,913,623
その他の収益(注) 4	—	203,755
外部顧客への営業収益	—	6,117,379
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	△1,006,841	—
計	△1,006,841	6,117,379
セグメント利益	12,951	124,452

(注) 1. 「その他」の区分は、付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位のものであります。

2. セグメント利益の調整額12,951千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に含まれる不動産賃貸収入および「金融商品に関する会計基準」に含まれる信託受益権により生じた収入であります。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「総合物流事業」セグメントにおいて、タカセ株式会社福岡営業所の工具、器具及び備品にかかる減損損失845千円を計上しております。

2. 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
日本	4,594,192	44,915	—	4,639,107	21,518	4,660,626
中国	1,020,997	—	—	1,020,997	—	1,020,997
米国	311,607	—	—	311,607	—	311,607
顧客との契約から生じる収益	5,926,797	44,915	—	5,971,712	21,518	5,993,231
その他の収益(注)4	203,755	—	—	203,755	—	203,755
外部顧客への営業収益	6,130,553	44,915	—	6,175,468	21,518	6,196,987
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	7,649	168,790	742,805	919,245	—	919,245
計	6,138,202	213,706	742,805	7,094,714	21,518	7,116,233
セグメント利益又は損失(△)	60,034	658	△3,234	57,458	5,172	62,630

	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書 計上額(注)3
営業収益		
日本	—	4,660,626
中国	—	1,020,997
米国	—	311,607
顧客との契約から生じる収益	—	5,993,231
その他の収益(注)4	—	203,755
外部顧客への営業収益	—	6,196,987
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	△919,245	—
計	△919,245	6,196,987
セグメント利益又は損失(△)	11,056	73,687

- (注) 1. 「その他」の区分は、付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位のものであります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額11,056千円は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。
 4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に含まれる不動産賃貸収入および「金融商品に関する会計基準」に含まれる信託受益権により生じた収入であります。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「総合物流事業」セグメントにおいて、タカセ株式会社福岡営業所の工具、器具及び備品にかかる減損損失309千円を計上しております。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式制度としての自己株式の処分)

当社は、2024年11月25日開催の取締役会における譲渡制限付株式制度としての自己株式の処分の決議に基づき、その割当として、2025年1月22日に自己株式8,300株(9,877千円)の処分を実施しております。